

ドローン測量のご案内



空撮した写真を 3D データへ

従来の地形計測は膨大な時間とコストがかかっていました。ドローン測量は空中写真から 3D データに変換するため、広い敷地ほど有用性を発揮します。測量基準点（標定点）を写真に取り込むことで、縮尺の設定や施工図面の座標系に合わせたデータに変換可能です。また普段見ることの出来ない空撮動画撮影も承ります。大浦工測はメーカー認定の専任スタッフが「**飛行計画**」「**撮影飛行**」「**成果編集作業**」まで一貫して行います。



空撮から解析までの流れ

- | | |
|------------|-----------|
| ①事前計画 | ④ドローン飛行撮影 |
| ②フライトプラン作成 | ⑤写真合成 |
| ③標定点の設置 | ⑥解析業務 |



【納品データ】

- 空中写真
- 空撮動画
- 3D データ（点群・メッシュ・ソリッド）
- 土量算出
- 縦横断図
- 等高線
- オルソ画像
- 定点写真



AI ドローンを使用した プラント設備・調査サービス

飛行・撮影が困難だったエリアでの

撮影が可能になりました!



- GPS が取得しづらいエリア
- 環境や磁気の影響を受けやすいエリア
- 狭所などへ進入



360° 撮影できることにより
これまでは難しかった橋桁の下などの
点検作業が可能になりました。

自立飛行技術を活かした“ぶつかりづらいドローン”

1. 上下6つの魚眼レンズで360°周囲を確認
2. 確認し、障害物と認識
3. 安全場所へ自律的に移動